

International GAP（国際的適正農業規範）対応の 食料管理専門職業人の養成

ニュースレター No.6 (2013.09.24)

発行：GAP 事業推進室 TEL/FAX：0985-58-7165 E-mail：muigap@cc.miyazaki-u.ac.jp URL：http://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/muigap/

大学初！ 宮崎大学農学部が GAP 普及大賞を受賞 — GAP 普及に向けた教育プログラムの開発が認められる —

宮崎大学農学部は、GAP 普及に向けた教育プログラムの開発が認められ、本年度の「GAP 普及大賞」を受賞しました。この賞は、日本 GAP 協会が GAP 普及に貢献した取り組みを表彰するもの。大学の受賞はこれが初めてです。

GAP とは農業生産工程の管理手法のこと。これにより農業経営の改善や効率化が図れるので、農林水産省はこの普及を進めています。

「GAP 普及大賞」は、特定非営利活動法人日本 GAP 協会が実施している「最も GAP の普及に貢献した取り組み事例を表彰するもの」で、今年で 3 回目の表彰となります。受賞式は 7 月 26 日（金）に東京で行われ、宮崎大学を含めて 3 つの事例が表彰されました。

宮崎大学農学部は、2011 年度から 4 年計画で文部科学省特別経費事業「International GAP（国際的適正農業規範）対応の食料管理専門職業人の養成」を実施しています。今回は、この事業で開発を進めている「GAP 教育プログラム」が高い評価を得ました。

「GAP 教育プログラム」は、農産物の生産現場である農場で食の安全を管理できる GAP 手法に精通した人材の育成を目的としたもの。GAP を体系的および実践的に学べるようになっていきます。宮崎大学では、GAP の実践を行う基盤として、附属農場が 2011 年に JGAP 認証を取得しています。これは、大学農場として日本で初めて。このような GAP 教育プログラムの取り組みは、世界でもあまり見られないものです。また、日本



菅沼学長（前列中央）と村上農学部長（後列左から 2 番目）ら農学部教職員



國武農学部副学部長（右）と他の受賞者



木下 GAP 事業推進室長による受賞講演の様子

GAP 協会の協力の下、「JGAP 指導員資格」を取得できる講座も大学では初めて開設し、2012 年 10 月には 37 名の JGAP 指導員が誕生しました。これらの取り組みは、宮崎県や JA 宮崎経済連、地元の農業法人などの協力を得ながら進めていて、このよ

うな産学官の連携についても評価されました。



評価された取り組みの紹介



学生 81 名が JGAP 指導員に

植物生産環境科学科では、集中講義「GAP 指導員講座」を行っています。これは日本 GAP 協会の協力のもと、実施しているもので、条件を満たした学生は「JGAP 指導員資格」を取得できます。2012 年度は 37 名、2013 年度には 44 名の JGAP 指導員が誕生しました。



農場実習を GAP ルールで

JGAP 認証農場である附属農場で行われる学生実習は、GAP に則したルールで行われています。たとえば、収穫作業は衛生面と作業の安全性を考慮したものになっています。これらのルールは、実習初日のオリエンテーションで学生たちに周知を行います。



GAP 認証農場で学外体験実習

県内の GLOBALG.A.P. 認証農場にご協力頂き、学外体験実習を実施しました。実習では、栽培作業のほか、GAP 内部監査も担当者と一緒に行いました。参加した学生達は「GAP 指導員講座」の受講後でしたので、農場の取り組みの意味がより理解できたようです。



海外でも農業を体験

昨年度、開講された「グローバルアグリ体験講座」では、学生 10 名がタイ王国へ行き、カセサート大学と JICA の協力のもと、ThaiGAP やタイの農業などに関する英語での講義や GLOBALG.A.P. 認証農場の見学などを行い、海外の農業を体感することが出来ました。



日本初！ JGAP 認証大学附属農場

農学部附属農場は、2011 年 12 月に大学附属農場としては、日本で初めて JGAP 認証（青果物）を取得しました。また、2012 年 12 月には、穀物でも JGAP 認証を取得し、これにより、附属農場で行われる学生実習は全て、JGAP 認証圃場で行えるようになりました。



認証農場マークで取り組みを紹介

附属農場で栽培・収穫された作物は、地元の市場などへの出荷と大学生協や学内、年 2 回の開放事業で販売されています。学内などで販売する商品には「JGAP 認証農場マーク」をつけて、附属農場の GAP の取り組みを学内外に紹介しています。



学外者も附属農場で学ぶ

附属農場では、学外者に対しても GAP の取り組みの紹介や見学会を行っています。2013 年度は、県内の農業機械士会や若手農業者の会を対象とした研修会を既に開催し、今後も JA の営農指導員や国の研究機関、九州内の普及協力員を対象としたものも開催予定です。



学外協力機関の意見をもとに改善

学外協力機関などからなる「国際標準 GAP 検討委員会」を 2 月に開催し、学外委員からの意見を受けて、GAP 教育プログラム実施委員会で改善案を検討しています。まずは、農場実習に GAP の項目を自己点検しながら学べる「自己点検チェックシート」を導入しました。

『International GAP 対応の食料管理専門職業人の養成』ニュースレターは、宮崎大学の人材養成の取り組みを広く紹介するために、農業法人や食品関連企業などの関係者に配信しています。

このニュースの配信を希望される方を募集中です。GAP 事業推進室までご連絡下さい。

【お問い合わせ】GAP 事業推進室

〒889-2192

宮崎市学園木花台西 1-1

宮崎大学農学部 (N708 号室)

PHONE/FAX : 0985-58-7165

E-mail : muigap@cc.miyazaki-u.ac.jp

URL : <http://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/muigap/>